

フィンランド語文法

第9回



今日の授業

目的語は、分格のほか、属格や主格で表示されることもあります。今日は、これらの格の使い分けについて学習します。これは、前期の授業の中でも最も重要な文法事項の一つです。また、分格は、語尾の種類が複数あって、どの語尾を使うかが名詞によって異なっています。今日は、この分格の作り方についても学習します。

今日のポイント

目的語の使い分けに関わる3条件はきちんと理解するようにしてください。分格の作り方については、特に複数分格形の場合、単純なパターン化ができません。当面は単語ごとに形を覚えるしかありませんが、だんだん慣れてくれば、見当がつくようになってきます。

今日の一枚

デパート City Sokos 前からマンネルヘイム通りを眺めた風景です。前回とは反対に北方向を眺めています。写真の左手の建物 Lasipalatsi は 1930 年代の機能主義を代表する建物です。奥には国会議事堂が見えています。マンネルヘイム通り沿いには、このほか、アルト(Alvar Aalto)設計のフィンランディアタロ(Finlandia-talo)や、サーリネン(Eliel Saarinen)らの手になる民族ロマン主義様式の国立博物館(Kansallismuseo)、1952年のヘルシンキオリンピックの会場となったオリンピックスタジアムなどの見所があります。